

ゆっくり楽しく 歩き回れるまちを目指して

まちづくり構想の実現に向けて

今号は豊中駅前にとって大切な催しのお知らせと、豊中市から説明があった「都そば前の改善案」の報告をします。

1. 6月29日(火)に協議会の総会が開催されます

豊中駅前まちづくり推進協議会の平成22年度定例総会が6月29日(火)午後2時より、大池コミュニティプラザにて開催されます。事業報告、事業計画の審議に続き、アンケート調査の集計結果の報告をもとに、まちの人達が車に邪魔されず、安全で快適に歩ける通

りづくり・まちづくりに向けた改善案を参加者全員で検討する予定です。

今回の総会は、まちぐるみで駅前の改善運動を展開する出発点にしたいと思います。駅前の現状を改善したいと思われる方はどなたでも参加できます。奮ってご参加下さい。

2. 7月11日(日)に七夕まつりが開催されます

今年で31回目を迎える、豊中駅前の最大イベント「七夕まつり」が11日の午後1時から開催されます。駅前の商業者のみなさんが支えて来られた「七夕まつり」を「これからは地域全体の祭にしたい」との実行委員長(銀座通り理事長・東尾さん)の思いもあり、今年から新しい企画が用意されています。協議会も微力ながら、そのお手伝いをする予定です。年にたった一度だけ七夕まつりの時は車を気にせず、自由に歩きまわれる豊中駅前です。



近い将来には、いつでも七夕まつりが出来るまち、いつでも七夕まつりのように賑わいのあるまちにしたいとの思いを込めて開催されます。是非、みなさん満喫してください。駅前の商業者のみなさん、ご苦勞様です。

3. 報告: “都そば前” 道路の改善案について

まちづくりニュース5月17日発行の「まちづくり掲示板」でお知らせしました“都そば前”道路の改善案について、当日の豊中市土木部道路建設課からは以下のような説明がありました。

1. 経緯とこれからの予定

- ・地元からの要請があり、市にバリアフリー構想の中で重点地区にしていること、また新開地の建替の時期(平成22年秋ごろ)に併せて実施したい、と考え平成21年秋ごろ、豊中警察との折衝から計画化が進んだ。阪急バスやタクシーとも協議して決める。
- ・今年の5月大阪府警と検討し、秋の大阪府の予算案に盛り込む事となった。
- ・本格的に計画が実施されるのは、予算化されてからのことになる。

2. 計画案の内容

- ①現在の銀座通りにある横断歩道を“都そば前”辺りに移動し、ボゼム前から新開地前までに新たな横断歩道を設置する。スクランブルではないが、それに近いものになる。
- ②信号機を設置し、176号と大池小前のスクランブル交差点の信号と連動させ、車が渋滞しないようにする。
- ③歩行者優先の信号にする(横断中は他の全部の信号は赤)。
- ④横断中の時間を30秒から60秒を検討している。(銀座通りの車の流れとの関係で検討する)
- ⑤大池小前のスクランブル交差点の改良も併せて大阪府警と検討したい。

⑥歩道の切り下げは新開地ビルの高さやボゼム駐車場前の低さなどの制約条件のため、理想的なものにはならない。

また、説明を聞いた参加者からは以下のような意見がありました。

- ①利用者の中には高齢者も多いので、横断時間は長い方が良い。長い時間待って、短い横断時間は不満が溜まり、より危険な横断を誘発する。
- ②銀座通りの荷捌きの車の影響も考慮する必要がある。
- ③大池小前のスクランブル交差点については、以前から問題があるとの声が多いので、これを機に改良して欲しい。
- ④新開地横の即道(現在銀座通りの横断歩道に面している道)は車の走行を止めて欲しい。
- ⑤府の予算化のために地元が出来ることがあれば教えて欲しい。是非とも新開地の建替の時期に実現して欲しい。

“今年から刀根山道の補修工事が始まります。来年、新開地ビルが建て替わる時期に併せ、都そば前の交差点も改善される予定です。まちに住む人達、事業を営む人達、まちにやってくる人達が満足できる豊中駅前に変えて行くには、絶好の機会です。このチャンスを逃さず、みんなで改善策を検討し、出来ることからひとつひとつ実践して行きましょう。”

会
員
募
集
中

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して
住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費(一口以上何口でも)
個人会員一口 300円
商店会員一口5,000円

問い合わせ先:
まちづくりセンター(協議会事務局)
TEL/FAX:06-6858-6190